

12月6日（金）

参加無料

場所：

北海道大学オープンイノベーションハブ
エンレイソウ（札幌市北区北11条西8丁目）

<https://enreiso.ops.hokudai.ac.jp/>



社会的養護経験者の高等教育への 進学と就学維持について考える

～米国の Fostering Higher Education に学ぶ～

自立を支える制度が少しずつ整備され、社会的養護経験者の大学等、高等教育への進学率は上昇する傾向にあります。しかし、進学後に就学を維持することは容易なことではなく、残念ながら中退に至ってしまうケースも少なくありません。また北海道に特徴的な状況として、札幌都市圏に大学等の高等教育機関が偏在していることもあり、地方の里親家庭や施設から高等教育に進学しようとする場合、生活の拠点やそれまでの支援者との関係から遠く離れたところで新たに生活をスタートさせるという困難さもあります。

そこで今回の勉強会では社会的養護経験者の高等教育への進学と就学維持を巡る現状と課題に焦点を当ててみたいと思います。当日は北海道の社会的養護経験者が進学する際の居所の移動やそれに関連する困難さを整理した上で、米国で実践が重ねられてきた高等教育進学をサポートするプログラムである Fostering Higher Education を、その開発者である Amy Salazar さんをお招きして取り組みを学ぶと共に、北海道でどのような取り組みが必要かについて検討したいと思います。



エイミー・サラザー

米国ワシントン州立大学バンクーバー校
人間発達学科准教授、予防科学博士課程
教員、および、米国オレゴン州認定修士
ソーシャルワーカー。専門分野は、社会的
養護と制度介入のリスクのある若者の
ためのプログラム開発と評価。特に高等
教育、経済的自立、パーマネンシー確立
などの領域でエビデンスベースを拡充す
ることに着目している。FHEの開発者。

*このイベントは対面のみで開催です

▶参加申し込みはこちらの[フォーム](#)から

（締め切りは11月26日（火）17時）



◆当日のスケジュール（予定） 10時開始 17時終了

- ・北海道の社会的養護経験者の現状
- ・日本の自立支援制度の概要
- ・社会的養護経験者から見た大学
- ・日本での高等教育への進学を支える取り組み
- ・米国での社会的養護経験者の高等教育への進学に関する現状と FOSTERING HIGHER EDUCATION

◆問い合わせ

北海道大学大学院教育学研究院 福祉臨床心理学研究室

fukurin@edu.hokudai.ac.jp

- ◎ 共催 NPO法人 インターナショナル・フォスターケア・アライアンス
米国 International Foster Care Alliance [IFCA]
北海道大学大学院附属子ども発達臨床研究センター
- ◎ 協力 Washington State University-Vancouver



www.ifcajapan.org